

# 一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 平成29年9月15日
- 実施校 北海道今金高等養護学校
- 巡回指導者 吉田 順 省、市場 大 資
- 当該校担当教諭 海田 健 教諭
- 実施日 平成29年9月11日(月)
- 実施日程 ① 13:00 ~ 14:40 1年生(生徒数23名) 体育授業  
② 15:30 ~ 17:00 サッカー部(1.2年生16名) 部活動

## ○実施概要

### ① 1年生の体育授業

生徒の障がいの程度は軽く、知的も高い生徒さんが多くコミュニケーションが取りやすく明るい生徒さんでスムーズな進行、フットサル授業が出来ました。

実施内容としましては、フットサルの基礎となるドリブルを中心として、グループでのゲーム形式の内容を取り入れて、仲間と協力して何かを実現させる、成功させる、仲間を応援するなど「チームワーク」、そして仲間とともにスポーツを行う「楽しさ」というテーマをフットサルを通じて伝える為に授業を実施させて頂きました。

生徒の皆さん、とても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になったと感じております。



### ② サッカー部の部活動指導

3年生が実習期間であったので、1.2年生16名での部活動となりました。

この時間はフットサルに必要な「足の裏を使ったプレー」、「トゥーキック」など技術的な指導をさせて頂きました。授業とは違い、生徒の皆さんは真剣にプレーして下さり、2年生はレベルの高い方が多く最後のゲームでは好プレーがたくさん見られました。



### ○自己評価及び今後の課題等

今回の巡回指導は、体育授業、部活動の2回の指導を行い、2回とも明るく楽しいフットサル授業が行えたと感じております。

フットサルに限らず、スポーツを行う事で今後「心と体の健康」が大切になると伝えさせて頂きました。

高校を卒業して社会に出るといろいろなことがある中、運動・スポーツを行う事で健康的で精神的にも強く生きていけると私は強く感じているので、授業、部活動の両時間の最後に、このことについて強調してお話させて頂きました。

今金高等養護学校の生徒が、今後、スポーツを続けて行ってくれたらと願っております。

また、校長先生をはじめ、担当の海田経論、またこの日は道南の特別支援学校教頭会研究協議会を実施しており、関係者がたくさん方が見学に来られて、お褒めのお言葉を掛けて頂き、感謝の気持ちで一杯です。

当財団の最初の活動として良いスタートが出来たのではないかと感じております。私は、これに慢心することなく、道内の支援学校の生徒さん、親御さん、先生の皆さんにフットサルを通じて楽しく、今後繋がる時間を過ごして頂けるよう、「小野寺眞悟財団」の指導担当者として、活動してまいりますので今後もよろしくお願い致します。